

平成27年度 大和市文化芸術賞受賞者



文化芸術賞

はぎうだ ちづこ
萩生田 千津子 氏（俳優・語り部・エッセイスト）

文学座附属演劇研究所（第7期生）卒業後、文学座入団。

「ロミオとジュリエット」、「飢餓海峡」などの舞台に杉村春子、北村和夫らと出演。映画、テレビなどでも活躍。不慮の交通事故で“一生寝たきり”を宣告されるも、昭和58年に水上勉作・演出「越前竹人形」で車いす女優としてカムバックを果たされました。以後、創作民話・童話の語り物を中心に、自己体験・介護・子育ての講演などを全国で行っていらっしやいます。



文化芸術振興賞

うらの りゅうこう
浦野 龍恒 氏（吟道家）

自ら精進するかたわら、昭和48年に浦野教場を開設するなど、長年にわたり、詩吟の継承、普及に尽力し、多くの後継者を育成されてきました。

緑神会には、昭和51年の会の設立から参画し、平成20年より会長を務め、平成26年からは最高顧問として活躍されていらっしやいます。また、書、文芸作品と詩吟のコラボレーション発表を実現するなど、他の文化芸術との交流にも力を注いでおられます。



文化芸術未来賞

きたじま きょうこ
北嶋 恭子 氏（サクソフーン奏者）

昭和音楽大学の在学中、国際芸術連盟主催第8回JILA音楽コンクール入選。卒業後、ソリストとして活動を展開し、平成19年にデュオリサイタルを開催。「中央林間手作りマルシェ」をはじめ、市内の様々なイベントに出演し、音楽家として活動するだけでなく、演奏会の企画、プロデュースにも積極的に携わるなど、大和市民の文化向上に努める強い意志と行動力が高く評価されています。

また、中学校・高等学校の吹奏楽指導など、後進の指導にも力を注いでいらっしやいます。



◆「大和市文化芸術顕彰」とは、平成21年12月に制定した大和市文化芸術振興条例に基づき実施しているものです。11月3日（文化の日）に市内を拠点に優れた創造活動を行っているアーティストや大和の文化芸術の発展に貢献した人を対象にしています。

文化芸術三賞

- | | |
|-----------|---|
| 〈文化芸術賞〉 | 文化芸術の分野における活躍が顕著で、その功績を称えることが、市の文化芸術振興に寄与するものと認められる人（または団体）に贈られます。 |
| 〈文化芸術振興賞〉 | 市の文化芸術振興に長きにわたって貢献し、その功績を称える必要があると認められる人（または団体）に贈られます。 |
| 〈文化芸術未来賞〉 | 未来の活躍が期待され、その活動を称えることが、受賞者の活動を後押しし、ひいては市の文化芸術振興に貢献すると期待できる人（または団体）に贈られます。 |